

平成30年度

事業報告書



一般社団法人

電動車両用電力供給システム協議会

Electric Vehicle Power Supply System Association : EVPOSSA

## 平成 30 年度 事業 報告

当協議会は平成 24 年 4 月に設立し、本年度で満 7 年を迎えることができました。これもひとえに会員企業の皆様、行政及び関係団体の皆様の温かいご支援の賜物であり、関係各位の皆様方に深く厚く御礼申し上げます。

当協議会は設立以来、「電動車両用電力供給システムにかかる諸課題を議論し、必要な取り組みを実施する」を目的に積極的かつ円滑な事業運営に取り組んできました。

また、平成 25 年度に策定した「EVPOSSA インフラビジョン」を基本方針に他団体の関連検討会・委員会への参画、行政（地方自治体含む）が主催する検討会及び協議会等への参画で EVPOSSA の認知度向上や普通充放電設備の普及に向けて、積極的な活動に努めてきました。

平成 30 年度は AC 普通充電器の出荷数については、堅調な動きとなりました。当協議会が独自に行っている会員企業を対象にした「普通充電設備の出荷自主統計」における充電ケーブル搭載 AC 普通充電器 (Mode3) の出荷台数は平成 31 年 3 月末現在で、前年度の 65% となっています。「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」にかかる補助金は減額傾向となっており、当協議会では今後の環境変化を想定した取り組みを推進しております。

平成 30 年度の主な活動成果は以下の通りです。

企画運営委員会では、「普通充（放）電器の新たな市場創出及びビジネスモデルの調査」「充電サービスにおけるユーザー視点での課題と改善検討」および「普通充（放）電器の市場拡大に向けた普及策の検討」を活動目的として、充電器設置者へのヒアリング調査やユーザー情報収集を行うと共に、他団体等からの要望やヒアリングを受け、課題の解決に向けた協議を行いました。これらの活動により今後の課題設定を行い、次年度の取組み課題へ反映しました。

技術課題検討部会では、関係団体と連携し、設計参考資料や V2H ガイドラインの改定を行うと共に、一般社団法人電気設備学会（以下「電気設備学会」）「普通充電器 EMC 環境に関する調査研究委員会」へ委員を派遣し、「普通充電器 EMC 環境に関する調査研究報告書」作成に貢献しました。

普及促進部会では「第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会&EV技術国際会議2018」(以下「EVS31」)に一般財団法人日本自動車研究所(以下「JARI」)、一般社団法人次世代自動車振興センター(以下「NEV」)と並び出展し、認知度向上に努めました。

今後とも関係各位のご支援に報いるべく、当協議会では安全・安心・互換性が確保された普通充放電設備の普及促進に向けて各種活動を更に加速・充実させてまいります。本事業報告書においては、上記の活動の紹介を始め、取り組みの状況等を記載しております。当協議会会員の皆様はもとより関係各位のご理解を頂き、これまでのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも従来以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 理事会・総会開催状況

### (1)【第22回理事会】平成30年6月6日(水)

明宏ビル別館/INOTEK大会議室

審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告書(案)

第2号議案 平成29年度決算報告書(案)

第3号議案 役員の任期満了に伴う役員改選候補者

第4号議案 企画運営委員会および部会に関する規程の改定

第5号議案 情報セキュリティ強化(案)

第6号議案 平成30年度定時総会招集

### (2)【平成30年度定時総会】平成30年6月26日(火)

航空会館地下/B101会議室

審議事項

第1号議案 平成29年度決算報告書(案)

第2号議案 役員の選任

報告事項

報告事項1 平成29年度事業報告

報告事項2 平成30年度事業計画

### (3)【第23回理事会】平成30年6月26日(火)

航空会館地下/B102会議室

審議事項

第1号議案 代表理事選定

### (4)【第24回理事会】平成30年11月30日(金)

明宏ビル別館/INOTEK大会議室

報告事項

1. 平成30年度 上期運営状況の報告

(1)運営体制

(2)企画運営委員会活動状況

(3)普及促進部会・技術課題検討部会活動状況

(4)会員入会状況

(5)収支予算執行状況

2. EVS31 出展結果報告

( 5 )【第 25 回理事会】平成 31 年 3 月 18 日 ( 月 )

明宏ビル別館/INOTEK 大会議室

審議事項

第 1 号議案 2019 年度事業計画書 ( 案 )

第 2 号議案 2019 年度収支予算書 ( 案 )

## 2 . 委員会・部会活動状況

### ( 1 ) 企画運営委員会

当協議会の事業目的を遂行する理事会の補佐機関として、理事会提出議案 ( 事業計画書案、収支予算書案、規程制定、改訂案等 ) の検討、協議会組織および運営に関する検討等で 11 回開催すると共に、企画運営委員会直下の「市場創出 WG」「充電サービス WG」を昨年度より継続し、以下の活動を行いました。

#### 活動内容

普通充 ( 放 ) 電器の新たな市場創出およびビジネスモデルの調査  
企画運営委員会直下で活動する「市場創出 WG」を昨年度より継続し、新たな価値創出等のための課題調査を行いました。また、中長期での普通充電器にかかる課題を検討し、次年度の活動課題へ反映しました。

充電サービスにおけるユーザー視点での課題と改善検討  
企画運営委員会直下で活動する「充電サービス WG」を昨年度より継続し、昨年度の課題を継続して取り組みました。  
また、車両との接続互換性に関する要望についての課題共有を行い JARI 認証接続品質へのご理解を頂く活動を行いました。

普通充 ( 放 ) 電器の市場拡大に向けた普及策の検討  
技術課題検討部会および普及促進部会傘下の「市場拡大 WG」「団体価値向上 WG」および「規格基準 WG」の取り組み推進上の課題について提言および審議を行うとともに、次年度への課題の反映を行いました。

国および自治体、団体の検討会等への参加

【経済産業省】

ERAB 検討会 2 回

【JARI】

EVS31 における組織委員会 3 回、実行委員会 4 回  
電池分科会 1 回

【一般社団法人日本電気協会】

50kW を超える急速充電設備の火災予防に対する検討部会 4 回

【一般社団法人電子情報技術産業協会（以下「JEITA」）】

スマートホーム部会 3 回

主な審議事項等

第 22 回、第 23 回、第 24 回、第 25 回理事会議事案件の審議

平成 30 年度定時総会議事案件の審議

普及促進部会・技術課題検討部会傘下 WG「団体価値向上 WG」「外部連携 WG」「市場拡大 WG」「規格基準 WG」の発足および WG 主査・副主査選任の審議

2019 年度事業計画書(案)の策定および 2019 年度収支予算書(案)の策定と審議

情報セキュリティ強化(案)の審議

国および自治体、関係団体開催の検討会・WG 等への参加者の審議

EVS31 展示会出展の審議

EVS31 出展説明における FAQ の内容審議

企画運営委員会および部会に関する規程の改定審議

出荷自主統計実績の定期確認(4 月、7 月、10 月、1 月)

接続互換性に関する要望への回答審議と説明

「市場創出 WG」「充電サービス WG」活動の進め方に関する審議

充電器設計参考資料 - 設置・施工 - の改定審議

他団体からの機関紙執筆依頼に対する審議(公益社団法人石油学会)

Web ページ改修内容の審議

Web ページ機能充実に関する審議

他団体からの意見募集に対する回答コメント審議(JEITA)

自治体からのヒアリング要望に対する対応審議(東京都)

次期 V2H 改定 JWG 体制の審議

WG 等の活動状況

【市場創出 WG】

「普通充(放)電器の新たな市場創出及びビジネスモデルの調査」を目的とし、企画運営委員会の中で WG を定期開催し、現状への不満点とニーズの調査を実施。設置者団体等へのヒアリングを行い、目的に対するキーク

ード事項の検討を行いました。その結果不満点はあるものの、具体的二一  
ズまで確認できませんでした。来年度は今年度の調査結果を分析し新た  
な市場創出につながる提案検討を行うこととして、次年度の企画運営委  
員会への取り組み課題に反映しました。

#### 【充電サービス WG】

「充電サービスにおけるユーザー視点での課題と改善検討」を目的と  
して、改善課題の抽出は市場創出 WG と合同で推進することとしまし  
た。

その結果、経済性向上、使いやすさを実現するスマートチャージン  
グ、及び災害時利用等を想定した付加価値向上を実現するための『2030  
普通充電サービスロードマップ』策定を、次年度の企画運営委員会の取  
組み課題に反映しました。

#### (2) 技術課題検討部会

今年度は、普及促進部会との活動内容の重複を解消し、より効率的な団体活  
動の実施を目的に両部会合同で活動内容別の WG を発足させ新たな体制で活  
動を実施しました。

部会（普及・技術合同開催含む） 開催実績：4回

規格基準 WG として9回開催し、また、V2H 改定検討作業会を規格基準 WG に  
設置した上で、3回開催し、以下の活動を行いました。

#### 第三者認証制度の課題解決と会員の認証取得推進

##### 互換性確保の取り組み継続

- ・トラブル情報の収集を行うことにより、互換性問題発生を注視してお  
りましたが、互換性に関するトラブル情報はありませんでした。

##### 認証取得推進

- ・今年度は JARI 認証基準の改定検討は実施されませんでした。

#### AC 普通充電器普及に向けた活動の推進

##### 各種規格、基準等の改定に伴う意見募集への対応

- ・国土交通省「公共建築工事標準仕様書」の改訂案への意見募集（1次、  
2次）に対し、検討した結果、改定意見無しで回答しました。  
その際に、会員会社からの質問事項（接地端子のねじ山の規定削除）  
について国土交通省へ確認を行いました。

- ・一般社団法人日本規格協会より ISO7001 の充電器ピクトグラム意見照会があり、検討の結果、AC/DC の区別がなされていないことを理由に「反対」意見で回答しました。

各種 WG への参画による普通充（放）電器の普及促進への貢献

- ・電気設備学会 EMC 調査研究委員会 . . . 2 回出席  
EVPOSSA から電気設備学会への調査委託を行いました。
- ・V2H 改定 JWG . . . 4 回出席
- ・電技国際化 EV 検討 WG3 . . . 3 回出席

発行文書の策定・見直し

) EVP-T005 充電器設計参考資料 - 設置・施工 - の改定

普通充電器の高出力化として 6kW 充電器の普及が見込まれるなか、想定される施工上の課題を検討しました。

三相電源からの普通充電器への配線などの課題について検討、審議を行い、設計参考資料 - 設置・施工 - を平成 31 年 3 月 14 日付で改定しました。

) V2H/L ガイドラインの改定

EVPS-002 電動自動車用充放電システムガイドライン「V2HDC 版 2.1.1 版」は平成 30 年 9 月 14 日で審議終了し、同日付で発行完了しました。EVPS-006 V2H 検定基準「DC 版 2.0.1 版」は平成 30 年 12 月 12 日で審議終了し、同日付で発行完了しました。

来年度は AC 版、DC 版ともに 2.2 版の改定作業を行うため、規格基準 WG 内に検討 WG を設置し、コメント募集、審議を開始しました。

) その他発行文書見直し必要性確認。

その他発行文書の記載内容を確認し、現時点では見直しの必要がないと判断しました。

平成 30 年 9 月 30 日～10 月 2 日に開催された EVS31 に EVPOSSA として出展するにあたり、展示会説明員用の FAQ について技術的観点からの審議を行いました。

会員のための情報発信の充実

- ・新たに 2 件の品質トラブル情報を収集し、会員企業への情報共有を図りました。
- ・電技国際化 EV 検討 WG3 の取り組みの中で、輸入車メーカーにおける高出力化ニーズのヒアリングを日本自動車輸入組合に行い、その結果を会員企業へ共有いたしました。

### (3) 普及促進部会

今年度は、技術課題検討部会との活動内容の重複を解消し、より効率的な団体活動の実施を目的に両部会合同で活動内容別のWGを発足させ新たな体制で活動を実施しました。

部会（普及・技術合同開催含む）開催実績：5回

団体価値向上WG 8回、市場拡大WG 6回、外部連携WG 1回として開催し、以下の活動を行いました。

#### 充電インフラ市場の拡大

##### インフラ普及に対する現状の課題整理と解決案作成

- ・充電インフラ補助金制度や充電器設置時に関係する規則面に関する要望を抽出し、整理しました。その中で短期的には補助金への要望、長期的には規則緩和への要望について経済産業省と意見交換を行いました。これら要望については、経済産業省への働きかけを引き続き行ってまいります。また、EVPOSSAとして導入課題や導入効果を設置者から継続して収集できる仕組みづくりを今後取り組んでまいります。

#### ユーザーの利便性向上

##### ユーザー目線での情報発信

- ・ホームページの改修および充実を実施しました。あらためて本協議会の紹介文を追加し、世界のコネクタ規格の位置づけなど分かりやすく紹介、会員各個社の商品紹介を整理、V2Hガイドラインの紹介などのダウンロードページの充実を図りました。

#### 関係団体との連携

##### 他団体・企業の取組み事例紹介及び情報交流

- ・合同会社日本充電サービスより「電動車両との接続確認済書」発行のご要望がありましたが、業界団体として発行すべきものではないことのご理解を頂きました。今後、必要に応じて情報共有しJARI認証制度への提言、一般社団法人日本自動車工業会への提言等につなげていくことで合意しました。

EVPOSSA の価値向上

発信力の強化

- ・平成 30 年 9 月 30 日～10 月 2 日に開催された EVS31 に JARI および NEV と併設出展を行いました。また、会員企業 11 社により充電器・V2H と充電器用コネクタなどを展示し、「安全性・互換性」、「普及促進」、「充放電器ガイドライン」を訴求し、国内外の来場者に EVPOSSA の認知度向上を図りました。

### 3 . 会員の状況 (平成 31 年 3 月 31 日)

会員数	30 会員
幹事正会員	6 会員
一般正会員	22 会員
賛助会員	2 会員

以上